

ショウガ栽培における病害虫の防除対策

ショウガは高温多湿の環境を好み、乾燥には弱い作物です。しかし、排水の悪い圃場では、地上部が生育しても根部の肥大が劣って腐敗も多くなります。このため、作土が深く、排水性に優れ、保水力のある肥沃な圃場が栽培に適します。また、日陰の場所でも葉色鮮やかに生育しますが、塊茎の肥大を促すためには高温、多日照が必要になります。

生育の適温は25~30℃で、低温の限界は15℃くらい、15℃以上の温度で萌芽します。寒さには弱く、10℃以下になると塊茎が腐敗しやすくなります。

ショウガ栽培において特に重要な病害は、**根茎腐敗病**です。本病は、前作の罹病した残渣が越冬して土壤伝染する他、感染した種根茎を植え付けることで圃場に持ち込まれ、雨で圃場が浸冠水した場合に多発生し、感染株が拡大します。防除対策として、①感染していない健全な種根茎の使用、②発病圃場の土壤消毒、③圃場排水性の改善や高畦栽培、④発病株の早期発見に努め、早めの除去、⑤生育中に有効薬剤の予防散布や発病初期の防除徹底などが必要になります。生育中の防除対策として、下記の表1を参考に、**梅雨期などは特に防除の徹底に努めてください**。その他、病害では紋枯病、白星病、軟腐病などの発生することがあります。

害虫ではアワノメイガやイネヨトウの幼虫が茎内に食入して萎れや芯枯れを生じ、多発すると株が枯死するので問題となります。幼虫が食入した被害茎の穴から鋸くず状の虫糞を出すのが特徴で、6月頃より発生しますが、特に被害の大きいアワノメイガは7月後半頃から目立ってきますので、早期発見と防除の励行が重要になります。その他では、ハスモンヨトウやネコブセンチュウなどの寄生することがあり、ハスモンヨトウは8月後半頃より発生する傾向です。

表1 ショウガ根茎腐敗病の主な防除薬剤 (令和4年6月13日現在)

薬剤名	使用量または希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
ユニフォーム粒剤	18 kg/10a (生育期土壤表面散布 または定植前作条土壤混和)	収穫30日前まで / 3回以内	11と4
ランマンフロアブル	500~1,000倍 (2~3ℓ/m ² 土壤灌注) または500倍 (1~3ℓ/m ² 土壤灌注)	(生育期) 収穫30日前まで / 3回以内	21
プレビクールN液剤	400~600倍 (3ℓ/m ² 土壤灌注)	(生育期) 収穫30日前まで / 5回以内	28
オラクル顆粒水和剤	2,000倍 (1~3 ℓ/m ² 土壤灌注) または3,000倍 (3ℓ/m ² 土壤灌注)	(生育期) 収穫3日前まで / 3回以内	21
オーソサイド水和剤 80	塊茎重量の2%を塊茎粉衣	植付前 / 1回	M4

注) 表1および2の分類欄にはFRAC、表3にはIRACコードを記載しました。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表2 ショウガ紋枯病、白星病、軟腐病の主な防除薬剤 (令和4年6月13日現在)

対象病害			薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
紋枯病	白星病	軟腐病				
○	○		ダコニール 1000	1,000倍	収穫14日前まで / 5回以内	M5
○			バリダシン液剤 5	800倍	収穫14日前まで / 4回以内	U18
○			モンカットフロアブル 40	2,000倍	収穫3日前まで / 5回以内	7
	○		トリフミン水和剤	1,000倍	収穫前日まで / 5回以内	3
	○		オーソサイド水和剤 80	600倍	収穫3日前まで / 2回以内	M4
		○	Zボルドー	500倍	- / -	M1

表3 ショウガのアワノメイガ、ハスモンヨトウの主な防除薬剤 (令和4年6月13日現在)

対象害虫		薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
アワノメイガ	ハスモンヨトウ				
○	○	トルネードエースDF	2,000倍	収穫7日前まで / 3回以内	22A
○	○	フェニックス顆粒水和剤	2,000~4,000倍	収穫前日まで / 2回以内	28
○	○	アクセルフロアブル	1,000~2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	22B
○		スカウトフロアブル	1,500倍	収穫前日まで / 5回以内	3A
○		デミリン水和剤	1,000倍	収穫前日まで / 3回以内	15
○		パダンSG水溶剤	1,500倍	収穫7日前まで / 5回以内	14
	○	ロムダンフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 3回以内	18
	○	プレオフロアブル	1,000倍	収穫前日まで / 2回以内	un
	○	コテツフロアブル	2,000倍	収穫前日まで / 2回以内	13

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 NEWS は JA全農いばらきホームページでもご覧になれます。